

はじめに

日頃よりイーデザイン損保をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当社の経営方針、事業概況、財務状況等、事業活動についてご説明するため、ディスクロージャー誌「イーデザイン損保の現状 2022」を作成しました。

本誌が当社をご理解いただく上で、皆さまのお役に立てば幸いです。

※ 本誌は、保険業法（第 111 条）および同施行規則（第 59 条の 2）に基づいて作成したディスクロージャー誌です。

なお、子会社については該当がありません。



会社の概要 （2022 年 3 月 31 日現在）

名称	イーデザイン損害保険株式会社
英文名称	E.design Insurance Co.,Ltd.
設立年月日	2009 年 1 月 26 日 イーデザイン損保設立準備株式会社として設立
資本金・資本準備金 株主	586 億 7 百万円（うち 資本準備金 293 億 3 百万円） 東京海上ホールディングス株式会社 N T T ファイナンス株式会社
従業員数	315 人
本社所在地	東京都新宿区西新宿 3-20-2 〒163-1413

イーデザイン損保の現状 2022

目次

トップメッセージ.....	2
経営理念、ミッション・ビジョン・バリュー3	
(特集)新商品&eの発売開始.....	4
トピックス.....	6

東京海上グループについて

東京海上グループ概要.....	9
東京海上グループについて.....	11

経営について

代表的な経営指標.....	15
2021年度の事業概況.....	17
お客さま本位の業務運営方針.....	18
お客さまの声.....	19
内部統制基本方針.....	25
コーポレートガバナンスの状況.....	27
コンプライアンスの徹底.....	28
個人情報の保護.....	31
勧誘方針.....	36
リスク管理.....	37
資産運用.....	38
情報開示.....	39
サステナビリティの考え方.....	40
サステナビリティの取り組み.....	42

商品・サービスについて

保険の仕組み.....	47
取扱商品.....	50
事故対応サービス.....	51
各種サービス.....	53

業績データ

事業の状況.....	55
経理の状況.....	65

コーポレートデータ

沿革.....	82
主要な業務、株式の状況.....	82
会社の組織.....	85
ネットワーク.....	86
設備の状況.....	87
役員の状況.....	88
従業員の状況.....	90
新商品の開発状況.....	91
情報提供活動.....	92
店舗一覧.....	92
損害保険用語の解説.....	93

トップメッセージ



取締役社長 桑原茂雄

平素より、イーデザイン損保をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社は、2009年6月に東京海上グループとNTTグループの提携のもと、通販型損害保険会社として誕生しました。「お客さまの信頼をあらゆる事業活動の原点におき、損害保険事業を通じて、お客さまの豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します。」を経営理念に掲げ、お客さま体験を向上すべく取り組んでまいりました。

2021年度は、デジタル時代の共創型自動車保険「&e（アンディー）」を発売しました。&eでは、2009年の創業以来培ってきたいざというときの保険の安心はそのままに、一人ひとりのお客さまに寄り添い、一人でも事故にあうお客さまを減らすために、IoTセンサーとスマートフォンを連携した安全運転支援サービスなどを提供しています。また、「データで安全を作る」という趣旨に賛同いただけるお客さまや地方自治体、企業とともに、&eのIoTセンサーデータと交通安全に関連する各種データを活用した事故削減プロジェクト「Safe Drive With」や、地域に根差した事故削減や交通安全の取り組みに対しての寄付プログラム「+まち（ぷらまち）」などを通じて、「事故のない世界」の実現に挑戦しています。2022年4月には、事故のない世界の実現に向け、提供商品を&eへ一本化していくことを見据え、当社Webサイトを全面リニューアルしました。

当社は、「事故時の安心だけでなく、事故のない世界そのものを、お客さまと共創する。」という当社ミッションに基づき、お客さまや地方自治体、企業などと共に、事故削減など社会課題の解決に貢献してまいります。

今後ともより一層のご愛顧・お引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年7月

経営理念

お客さまの信頼をあらゆる事業活動の原点におき、損害保険事業を通じて、お客さまの豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します。

- お客さまのニーズを最大限に満たす商品・サービスを追求・創造・提供し、安心と安全をひろげます。
- 社員一人ひとりが個性を活かし、創造性を発揮できる自由闊達な企業風土を築きます。
- 良き企業市民として、地球環境保護、人権尊重、コンプライアンス、社会貢献等の社会的責任を果たし、広く地域・社会に貢献します。
- 株主の負託に応え、収益性・成長性・健全性を備えた事業を展開し、企業価値の向上をはかります。

ミッション・ビジョン・バリュー

○ ミッション

事故時の安心だけでなく、事故のない世界そのものを、お客さまと共創する。

○ ビジョン

Create a New Standard

保険業界の新しいかたちを、お客さまとともに。

○ バリュー

究極の安心・安全

(事故にあわない・事故を起こさない)

究極の先回り

(疑問や不安を感じない)

究極の快適性

(カンタン・わかりやすい・迷わない)

究極の For Me

(私にぴったりで心地よい)

特集

デジタル時代の共創型自動車保険 「&e（アンディー）」を発売

2021年11月18日（木）、最新テクノロジーを活用してお客さまに新たな体験を提供する総合自動車保険「&e（アンディー）」（以下「&e」）を発売しました。&eでは、一人ひとりのお客さまに寄り添い、一人でも事故にあうお客さまを減らすために、IoT センサーとスマートフォンを連携した安全運転支援サービスなどを提供してまいります。

&e の特長

（1）AI を駆使したシンプルでわかりやすい保険サービス

ご契約手続きや補償内容に関するお問い合わせから、万一の事故のご連絡や保険金のお支払いまで、多くの手続きをスマートフォンだけで完結できます。お客さまに最高の操作性をお届けすることを開発の重要なコンセプトに据え、例えば保険料試算は最短 60 秒で完了できます。また、保険証券をスマートフォンで撮影しアップロードすると、AI 画像認識機能（※1）により、見積もりや申し込みに必要な項目の入力が大幅に削減されます。



（2）IoT センサーなどの最新テクノロジーで新たな体験を実現

ご契約されたすべてのお客さまに、無償で IoT センサー（※2）をご提供します。万一事故にあわれた場合、IoT センサーが自動で衝撃を検知し、スマートフォンから 1 タップで事故を連絡できます。また、提携修理工場での修理のご希望もその場で入力できます。



さらに、IoT センサーが検知した衝撃や GPS データを基に、お客さまのお車の事故状況を動画で再現します。事故前後のお車の速度・衝撃・損傷などのデータを事故担当者が把握できるため、事故にあわれた場合のお客さまの不安を軽減できるようサポートするとともに、事故の早期解決に役立てます。



(3) お客さまの安全運転を後押し、お客さまのカーライフをサポート

安全運転のためのヒントが詰まった「運転テーマ」を定期的にアプリで配信し、お客さまの運転をサポートします。また、IoT センサーが検知したデータを基に判定した急ブレーキや急ハンドル、急加速などの情報や、それらを基に算出した運転スコアからご自身の運転傾向がわかります。さらに安全運転でハート（ポイント）がたまり、コーヒーなどの商品に交換できます。



(4) お客さまと事故のない世界を共創

「データで安全を作る」という趣旨に賛同いただけるお客さまや地方自治体、企業とともに、交通安全に関するデータを活用した事故削減の取り組み「Safe Drive With」(※3)を開始します。

例えば、Apple Watch 経由で運転中およびその前後の心拍数や前日の睡眠時間などのヘルスケアデータを取得し、安全運転との相関関係を調べるなど、今後様々な企業や自治体と取り組みを進める予定です。

また、お客さまの安全運転への取り組み状況に応じて、地域に根差した事故削減や交通安全の取り組みに対し当社が寄付を行う活動「+まち（ぷらまち）」も開始し、お客さまとともに事故のない世界を目指します。

※1 AI 画像認識（保険証券自動読み取り）機能は、シナモン AI 社（代表取締役社長 CEO 平野 未来）と共同開発した機能です。今後も当社は、シナモン AI 社との連携を強化し、パーパスドリブンな AI 成長戦略の実装を推進していきます。シナモン AI 社について詳細は、<https://cinnamon.is> をご覧ください。

※2 提供する IoT センサーは、イタリアの OCTO Telematics (OCTO)社製です。2002 年にイタリアで設立された OCTO 社は、保険業界においてテレマティクスサービスならびに高度なデータ分析を誇る世界最大手の企業で、フリート テレマティクス サービスおよびスマート・モビリティにソリューションを提供するリーディングカンパニーの一つとしても、その地位を確立しつつあります。OCTO 社について詳細は、<http://www.octotelematics.com>（英語）をご覧ください。

※3 「Safe Drive With」は、運転データや社会の様々なデータから交通事故のない社会に向けての活動やサービスに繋げていく取り組みです。運転データから危険な場所を特定したり、ウェアラブルデバイスを活用して健康面から安全運転をサポートしたり、認知機能を維持することでカーライフをより長く安心・安全に楽しめる取り組みなどを進めていきます。

トピックス①

AI(人工知能)を活用して自動車保険の不正請求を早期検知

株式会社 PKSHA Technology（代表取締役 上野山 勝也）と連携し、契約内容や事故申告状況等に関する情報から不正な保険金請求を早期に検知する AI（人工知能）を開発しました。

AI の高次元の不正請求パターン認識により、保険金請求について自動的かつ高速度・高精度なスクリーニングを行うことができるようになり、当社の専任担当者の持つ専門的ノウハウを活かしつつ、その業務を AI がサポートする形で不正請求対策の高度化を実現しました。また、AI が最新の不正請求事例を学習し、環境変化に対応します。

AI を活用した事故担当者マッチングサービス「私のタントウシャ」

事故にあわれたお客さまのストレスや不安を軽減するために、AI を活用して事故担当者をマッチングするサービス「私のタントウシャ」を 2021 年 10 月 22 日より開始しました。

お客さまに約 40 秒のアンケートにお答えいただき、アンケート結果からソーシャルスタイル理論（※1）に基づいてコミュニケーションスタイルを推定します。そして万一事故にあわれた際には、AI を活用し、コミュニケーションスタイルや事故の内容からお客さまにぴったりの担当者を選任します。

※1 アメリカの産業心理学者 Merrill が提唱した理論で、対人行動における人間のコミュニケーションタイプを識別・類型化するものです。当社では、関西学院大学・佐藤善信教授監修のもと、当理論を活用しました。

健康でエコな移動を促進するマイレージアプリ「ノルク」をリリース

Connect IQ Labs, Inc. (CEO : Jigar Shah) が開発した「Miles」の技術・ノウハウをもとにした「ノルク」を 2021 年 12 月 9 日から提供開始しました。「ノルク」は、ユーザーが移動した距離と手段に対応した“マイル”を付与し、たまったマイルに応じて様々な特典を提供するスマートフォン向けアプリです。

ノルクを通してマイル付与率の高い徒歩や自転車の利用を推奨することで、短距離移動における自動車利用の頻度を減らし、事故リスクや環境負荷の軽減を目指します。また、徒歩や自転車の利用頻度が高まることによるユーザー自身の健康増進の効果も期待できます。

HDI 格付けベンチマーク「Web サポート」で最高評価の三つ星を獲得(9年連続)

HDI-Japan が 2021 年 9 月 8 日に発表した、「HDI 格付けベンチマーク 2021 年度 損害保険業界『Web サポート格付け』」において、最高評価の三つ星を獲得しました。

この格付けは、一般審査員（公募による一般ユーザ）と専門審査員（HDI 認定オーディタ、HDI 認定インストラクターなどより選抜）が、HDI の国際標準に基づいて設定された評価基準に沿って、顧客の立場から、各評価項目を 4 点満点で評価し、結果を三つ星～星なしの 4 段階で格付けしたもので、「Web サポート格付け」の三つ星獲得は 9 年連続となります。また、その他の外部評価機関からも高い評価を受けています。



トピックス②

Apple Watch で取得するヘルスケアデータを 活用した実証実験の開始

より安全な運転環境を実現するために Apple Watch を使用する国内初^(※2)の取り組みとして、Apple Watch から収集されるヘルスケアデータと当社の総合自動車保険「&e（アンディー）」から取得するお客さまの運転データを分析し、体調と安全運転との相関関係を明らかにする実証実験を開始しました。Apple Watch を通じてお客さまの運転前の体調を診断し、個々人に適した安全意識を高めるアドバイスを行う新たなアプリケーション・サービス開発を目指します。なお、本実証実験は木村雄弘先生（慶應義塾大学）に監修いただいております。

※2 当社調べ(2021 年 11 月時点)

当社は、実証実験で得られたデータから課題を検証し、平時とは異なる健康状態の予測に繋がる新たなソリューションの開発を目指します。

「2021 年度 IT 賞」で 最高位の「IT 最優秀賞」を受賞

当社は、2021 年 12 月 2 日に発表された公益社団法人 企業情報化協会（以下「IT 協会」）主催の 2021 年度（第 39 回）IT 賞において、「デジタルによる究極の顧客体験価値の提供だけでなく、交通事故削減という社会課題への対応も目標に掲げ、そのために商品・サービス・システムを短期間で刷新した」点を高く評価され、最高位の「IT 最優秀賞」を受賞しました。

【授賞テーマ】CX を起点としたデジタル保険会社へのトランスフォーメーション

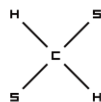


事故のない世界を共創する 「SafeDriveWith」プロジェクト 渋谷区への&e 運転データ連携を開始

交通安全に関するデータを活用した事故削減の取り組み「SafeDriveWith」プロジェクトとして、渋谷区へのデータ連携を開始いたしました。

当社の「共創する自動車保険 &e（アンディー）」の IoT センサーから得られる急ブレーキ多発地点など、さまざまな運転データを個人情報を含まない形で加工・統計化したうえで、渋谷区が構築を進める「シティダッシュボード」に連携することで、渋谷区内の危険箇所が見える化し、交通事故の予防を目指します。

また、渋谷区とは今回のダッシュボードへの連携を起点に、事故のない社会実現に向けたデータのさらなる活用方法を継続的に協議、実践していきます。



SHIBUYA
CO-CREATION HUB